

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (中城) 小学校 (1 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
1	10	1 1 2 3 5	紙芝居 絵本 ごさまる歴史資料図書館 出前授業（中城城跡見学が天候不良によりできなかったため、ガイドさんが学校で行った。） 中城城跡見学

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・ 時数的には、計画時数を上回ってしまったが、「ごさまる歴史資料図書館」「出前授業」「中城城跡見学」を行ったことで、より興味・関心を持って学習することができた。
- ・ 休日を利用して、他の城跡見学をする家庭があった。
- ・

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・ 中城城跡見학을 10 月末から 11 月上旬までには計画・実施したい。
- ・ 見学前に、ガイドさんとの事前打ち合わせができるとよい。
- ・ 文化庁が制作しているとよむ中城の中城城跡の案内（子供向け・日本語バージョン、15 分程度）をいつでも見れるようにしたい。

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は 2 ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和 2 年 2 月 14 日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで （電子媒体：メール送信）

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書
(中城) 小学校 (2 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
2	10 (2)	13 (2)	人物像や事柄の読み取り10時間。まとめ2時間。発表1時間。 (生活科の町たんけんて護佐丸歴史資料図書館を見学する2時間)

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・護佐丸について親しみを持つことが出来た。
- ・護佐丸の一生について、心に残った事柄をまとめ、感想を書くことが出来た。
- ・保護者から、児童がまとめたものに喜びや賞賛のコメントをもらうことが出来た。
- ・生活科の町たんけんにつなげて、護佐丸歴史資料図書館を見学して、時数を超えないようにした。

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・内容を理解するのに時間がかからないようにする。
- ・護佐丸新聞を作るのに時間がかかってしまったので、時間内に出来るように内容（まとめ方）を変えたい。
- ・教科書は一人一人にほしい。
- ・各学年の学習内容の系統性が見える一覧表がほしい。

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は2ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和2年2月14日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで （電子媒体：メール送信）

【様式 1】

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (中城) 小学校 (3 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
3	1 2	1 5	(例) 校外学習 2 時間・・・スクールバスを利用して中城城跡の見学し、ガイドの説明を聞く（現地 1 時間）、副読本とワークシートを活用した（8 時間）。 校外学習 3 時間・・・バスを借用して中城城跡を見学し、ガイドの説明を聞く 副読本を活用した 2 ～ 3 時間 調べ学習 7 ～ 8 時間 発表 2 時間

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・参観日を通して、ごさまる科で取り組んでいることを、保護者に見てもらうことができた。
- ・ごさまるや中城城跡について保護者・児童ともに、興味や関心を高めることができた
- ・見学や、調べ学習で得た知識を、新聞やポスターにまとめることができた

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・1 学期からごさまる科を取り組み、早めに関心をもたせておきたい
- ・早めに取り組むことで、長期休暇を利用して家族で城跡を見学することはできないかと考えた
- ・次年度は発掘調査も見学させたい
- ・調べ学習において、資料が少なかったため、リンクの紹介があるといいと感じた

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は 2 ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和 2 年 2 月 1 4 日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

【様式 1】

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (中城) 小学校 (4 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
4	1 2	1 2	(例) 校外学習 2 時間・・・スクールバスを利用して中城城跡の見学し、ガイドの説明を聞く（現地 1 時間）、副読本とワークシートを活用した（8 時間）。 副読本 8 時間 ごさまる歴史資料図書館見学 2 時間 新聞作成 2 時間

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・副読本で学んだことを、ごさまる歴史資料図書館で見学したり、学芸員の話聞くことによって、より理解することができた。

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・津覇小や中城南小の報告から、商品開発や観光客誘致のアイデアを考えさせる取り組みもよいと思った。

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は 2 ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和 2 年 2 月 1 4 日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (中城) 小学校 (5 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
6	7	7	音読劇（総合） 1 CD を聞き、音読劇のイメージを持たせる。 2 グループに分かれて第一幕の音読劇の練習をする。お互いの音読劇を見て、台詞の言い方の工夫について学級全体で考えた。 3 脚本から、中城の人々のごさまるに対する感情が変わった場面を確認した。（役になりきる際に参考にできるように） 4 グループごとに分かれて練習（3 時間程度） 5 発表会（学級全体で 1 つの劇が成り立つようにグループ分けをした）
	3	2	道徳 副読本の読み合わせと感想の交流 （例）校外学習 2 時間・・・スクールバスを利用して中城城跡の見学し、ガイドの説明を聞く（現地 1 時間）、副読本とワークシートを活用した（8 時間）。

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・ごさ丸の思いや中城の民のごさまるへの気持ちの変化など、登場人物の気持ちを想像しながら演じることができていた。また演じる際には、児童自身が持っている知識（1 年～4 年までに学習した内容）を活かし、どう演じればいいのか活発に話し合うことができていた。
- ・児童にとって音読劇は、1～4 年生までの活動と異なる内容だったため、新鮮だったようだ。意欲的に楽しんで取り組むことができていた。

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・脚本があったので、取り組みやすかった。気持ちなどを書き込むことができると、更に使いやすくなると感じた。
- ・劇だけでなく、ボランティアガイドさんの話なども取り扱うことで、中城城跡に対する中城村民の思いを児童が読み取ることができた。
- ・行事や補習などで忙しい時期ではあるが、来年度は低学年をお招きして音読劇を披露できるとよいと感じる。観客に分かりやすいよう工夫する作業を通して、もっとごさまるに対する理解が深まるのではないかな。

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は 2 ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和 2 年 2 月 1 4 日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (中城) 小学校 (6 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
6	1 9	1 3 1 5	(例) 校外学習 2 時間・・・スクールバスを利用して中城城跡の見学し、ガイドの説明を聞く（現地 1 時間）、副読本とワークシートを活用した（8 時間）。 ・副読本と図書館の資料（ヒストリユ〜,琉球列伝） ・単元のまとめ ・新聞作り

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・1 年からごさまる科を学習しているので,ある程度の知識を児童が持っていた。だから,ごさまる科の授業に興味を持って取り組んでいた。
- ・6 年は,グスク時代から護佐丸がどう関わっていくのかにつなげて指導をしていたので「この時代は,どんな人が活躍したんだろう。」「護佐丸っていつの時代に出てくるんだろう。」など様々な問いを持ち,興味深く授業を受けていた。
- ・新聞作りでは,自分たちが習ったことを 1 つの視点に着目して写真や絵、図などを取り入れて丁寧にとまとめていた。

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・体験活動を取り入れるための時間の確保
- ・とてもわかりやすい挿絵があって助かりました。映像などがあるとうれしいと感じました。

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は 2 ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和 2 年 2 月 1 4 日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (津 覇) 小 学 校 (1 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
1	10	10	(例) 校外学習 2 時間・・・スクールバスを利用して中城城跡の見学し、ガイドの説明を聞く（現地 1 時間）、副読本とワークシートを活用した（8 時間）。 ・紙芝居（1 時間） ・ごさまる歴史資料図書館（2 時間） ・副読本とワークシートを活用した。（3 時間） ・中城グスク見学をし、ガイドの説明を聞く（3 時間） ・中城グスク見学の後、絵作文をかいた。（1 時間）

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・世界遺産という言葉の説明から入り、そのすごさを伝えることで興味をひくことができた。
- ・「ごさまるくん」が歴史的に重要な人物ということがわかった。
- ・グスク見学への事前学習として、ごさまる資料館へ行くことで興味関心を持つことができた。

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・各学年の本を読んで内容を把握したい。
- ・ワークシートや絵作文にまとめるとき、見学した場所の写真を写して振り返りに必要な資料作りが必要。（グスクや資料館の写真）
- ・ワークシートの工夫。

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は 2 ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和 2 年 2 月 1 4 日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (津覇) 小学校 (2 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
2	10	10	副読本とワークシート、紙芝居、イラストの活用をした。
	2	2	ごさまるの年齢毎に、分かったことや調べたことをまとめた。

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・「護佐丸の行ったことを村民として、どう思うか？」で、学習をまとめることにより、護佐丸のことを身近に感じたようである。関連する本を読んだりする等、関心が高まった。
- ・地域の護佐丸関連の祭りへの参加や護佐丸歴史資料図書館へ行く児童が増えた。保護者の意識も高まってきた。
- ・学習をもとに興味・関心が広がり、外部の先生とも話しができた。

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・保護者に対し、日記や掲示物を通して学習内容や分かったことを伝えたが、反応は少なかった。家庭への啓蒙のため、発信の仕方に工夫が必要である。
- ・自分の身の周りにしか、まだ興味が持てない子ども達を護佐丸の生き方に触れさせるのは大変難しかった。学習内容と子ども達の実態に開きがある。体験的な活動を取り入れたい。
- ・

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は2ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和2年2月14日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (津 覇) 小 学 校 (3 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
3	10	14	(例) 校外学習 2 時間・・・スクールバスを利用して中城城跡の見学し、ガイドの説明を聞く（現地 1 時間）、副読本とワークシートを活用した（8 時間）。 ・ 校外学習 3 時間・・・コミュニティバスを利用して中城グスクを見学し、ガイドの説明を聞く。 ・ 副読本を利用し中城グスクについて学習する。4 時間 ・ 校外学習で見聞したこと、副読本から読み取ったことを新聞にまとめる。4 時間 ・ 発表原稿を作り、発表の練習をする。1 時間 ・ 発表会 1 時間 ・ 学習を振り返って 1 時間

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・ 初めての大型新聞作りに取り組んだ。自分の役割（テーマ）にそって記事をまとめることができた。
- ・ 参観日を利用してミニミニ発表会を開くことで、児童の活動が活発に進められた。
- ・ 保護者も「ごさまる科」でどのような学習をしているか確認できた。
- ・ 授業で中城グスク・ハンタ道に関心を持ち、休日に家族でハンタ道のウォーキングにでかけた。発展学習をする子がいた。

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・ 計画時数内では、まとめることができなかった。10 時間では、時間が足りない。
→→→総合の時間（地域を知ろう）から時間をとった
- ・ 報告書 2 枚目に記載（2 枚目も見てください。）

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は 2 ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和 2 年 2 月 1 4 日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

3 課題

「ごさまる科を村で継続させていく」という意義をもっと深く教師陣が理解していないと児童に対して本当の意味の教育活動は成立しないと思う。

児童がこの科（学習）を通して村を誇りに思えるようになること、愛着をもち将来 村のために何かできる人物になることの土台作りができるようにこの科が存在しなければならないとも考える。ただ、護佐丸自体の資料はほとんどないと聞く。つまり、児童には護佐丸を取り巻く琉球史や城造り、そして修復活動の学びから、何かを得させないといけないということになる。教師は何を子どもたちに学ばせないといけないのかを明確に持ち系統的に学習を進めていかなければならない。ごさまる科を進めていく上で、村だけではなく県の関係団体とのつながりを村教育委員会にはお願いしたい。

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (中城村立津覇) 小学校 (4 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
4	1 2	1 2	(例) 校外学習 2 時間・・・スクールバスを利用して中城城跡の見学し、ガイドの説明を聞く（現地 1 時間）、副読本とワークシートを活用した（8 時間）。 ・副読本を活用して学習した。（8 時間） ・中城城跡をいかす取り組みについて学習し、「たくさんの人に中城城跡を見に来てもらうためにどうしたらよいか」考え、グループでまとめた。（4 時間）

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

【児童】

- ・自分たちの住む中城村に誇りをもつようになった。
- ・「中城城跡をいかす取り組み」について考えるときには、とても意欲的に取り組むことができた。
- ・「たくさんの人に中城城跡を見に来てもらうためには、どうしたらよいか考えよう」をテーマに、中城城跡をいかす取り組みを考えた。
 - 《児童が考えた取り組み》……………裏面に写真添付
 - 中城城跡でクイズラリーをする。
 - 中城城跡のCM制作
 - ごさまる君グッズを作成し、販売する。
 - 購入者には、中城城跡入場半額券をプレゼントする。

【保護者からの声】

- ・ごさまる君グッズのアイディア最高ですね。マスコットとてもかわいく作れていました。
- ・CMは、本当にやっている姿を見たくくなりました。

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・中城城跡の発掘調査について、生涯学習課文化係の新城さんに講話をお願いしたかったが、今年度は中城城跡の発掘作業が忙しく、スケジュール調整が難しくてできなかった。

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は 2 ページ以上にまたがってもかまいません。



フェルトをつかって、
裁縫に挑戦！！



中城城跡の北の郭から南の郭まで、
クイズラリーを考えました。→



←中城城跡を紹介するCMを制作しました。
台本をかいて、動画撮影しました。

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (津 覇) 小学校 (5 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
5 学年	1 3	1 5	（例）校外学習 2 時間・・・スクールバスを利用して中城城跡の見学し、ガイドの説明を聞く（現地 1 時間）、副読本とワークシートを活用した（8 時間）。 ・副読本「中城城跡・護佐丸」を活用した道徳科の授業。（3 時間） ・脚本「中城と護佐丸」を活用した音読劇の練習。（9 時間） ・「音読劇の発表会」2 回実施。（2 時間） - 保護者へ披露する。（中城村教育の日に各教室にて） 1 年生へ披露する。（2 月に多目的広場にて） ・護佐丸科を通しての感想・振り返りを書く。（1 時間）

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・道徳科の時間に副読本「中城城跡・護佐丸」を活用することで、中城城跡や護佐丸の残したもの、またそこで働く人々の気持ちを通して、思いやりの心、郷土を愛する心、社会に奉仕する喜びを知ることができた。
- ・「中城城跡・護佐丸」を踏まえて、音読劇「中城と護佐丸」の練習に入ること、児童自ら考えて、取り組んでいた。
- ・音読劇の練習では、中城村と護佐丸や中城城跡との関わりや人物の気持ちを考えながら、意欲的に活動していた。
- ・保護者や 1 年生に音読劇を披露することで、伝える力を学び、表現することの楽しさを感じ取ることができた。
- ・1 年生に「音読劇」を披露することで、次への学びへ繋ぐことができた。

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・音読劇の練習をはじめの中で、児童がどんどん積極的に考えを出すようになった。そこで、自分達の中で劇を楽しむことも大切だが、「伝えること」も重要だと考え、当初の計画にはなかった 2 度の発表会を実施した。計画の変更に、あわてる場面があったので、次年度は「音読発表会」の位置づけを明確にして取り組みたい。
- ・音読劇の練習の中で、4 年生までに学んだことを振り返る時間、調べる時間を設定すると学びが繋がり、深まるのではないかと思います。次年度は、ワークシートを活用して計画に取り入れたい。
- ・計画時数を 2 時間超えてしまった。時間の使い方を検討したい。

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は 2 ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和 2 年 2 月 1 4 日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (津 覇) 小学校 (6 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
6	15	20	(例) 校外学習 2 時間・・・スクールバスを利用して中城城跡の見学し、ガイドの説明を聞く（現地 1 時間）、副読本とワークシートを活用した（8 時間）。 ・ 校外学習 3 時間・・・バスを利用して新垣から中城城まで、はんだ道を歩きガイドの説明を聞く（中城城の説明も） ・ はんだ道のパンフレットの発表（1 時間） ※作成は国語のパンフレットを作ろうの単元を活用 ・ 副読本を利用した琉球の歴史について学習する（9 時間） ・ 興味を持った事について、ネットで調べる（2 時間） ・ 副読本から読み取ったことや、調べたことを新聞にまとめる。（4 時間） ・ まとめたことの発表（1 時間）

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・ はんだ道をみんなで歩き、首里から中城城までの史跡を見て、ガイドから説明を聞くことで、興味関心を持つ児童が多くなった。
- ・ まとめの新聞作りでは、1 学期からの練習してきたことで、グループで計画的に進めることができていた。
- ・ 前学年での学習が生かされていた。琉球の歴史と日本の歴史をつなげて考える児童が増えてきた。
- ・ 尚巴志ビデオを期間に工夫をして視聴することで、具体的に人物や時代背景をイメージすることができていたことはよかった。
- ・ 保護者に新聞を見てもらうことで（授業参観）、学習の様子を伝えることができた。
- ・ 計画的に新聞の書き方を学習していたので、取り組みは早かった。

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・ 1 学期に中城村内についての歴史、史跡などの資料を集めることと、ごさまる資料館の見学を行うことで興味・関心を持たせる必要があった。
- ・ 琉球の歴史の流れの中（副読本）で登場する護佐丸の姿だけでよいのか、興味・関心を持っている児童への対応にどうしたらよいのか。（知識・情報不足）
- ・ 6 年を持った担任で計画からは大変なので、見学・体験プログラム等の見本があると助かります。
- ・ 内容に対して、まとめをどのようにするかで時数が大きく変わってしまう。今回は新聞にまとめたことで 5 時間オーバーしてしまった。

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は 2 ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和 2 年 2 月 14 日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (中城南) 小学校 (1 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
1	10 時	1 2 1 4 1 1	(例) 校外学習 2 時間・・・スクールバスを利用して中城城跡の見学し、ガイドの説明を聞く（現地 1 時間）、副読本とワークシートを活用した（8 時間）。 1 時 …紙芝居、護佐丸について知っていること 2・3 時…絵本 4 時 … 1 ～ 3 時で分かったこと(ワークシート①) 5 ～ 8 時…中城城跡の見学(ガイドによる読み聞かせ→見学) 9 時…見学をしての気づきをワークシート②にまとめる 10 時…中城についてもっと知りたいこと(ワークシート③)

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・児童の興味が高まった(ごさまる科学習の実施前と後で)
- ・中城グスクの歴史に興味を持ち始めた
- ・絵本を持ち帰り、兄弟や家族への読み聞かせをした児童がいた。

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・中城城跡の見学の時、ガイドの方は詳しく説明してくれたが、1 年生には理解が難しかった。
→事前の打ち合わせが必要
- ・教材研究が十分に出来なかった。
→中城のフィールドワークや学芸員による講話など、職員向けの研修があるといいのでは
今年度の夏季休業中に平和学習研修を行ったように、次年度は中城村に焦点化しても…。
- ・護佐丸科としての系統性(1 ～ 6 学年まで)
- ・保護者への情報発信の仕方・

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は 2 ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和 2 年 2 月 1 4 日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (中城南) 小学校 (2 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
2	10	10	・中城グスク見学・・・ガイドさんによる説明（3時間） 【副読本活用】（各1時間） ・DVD・副読本をみて初発の感想を持つ。 ・小さいころのごさまるの行動から人物像について考える。 ・城作りに励むごさまるの行動から人物像について考える。 ・今帰仁グスクからもどってきたごさまるの行動から人物像について考える。 ・勝連のあまわりに攻められたときのごさまるの行動や考え方からごさまるの人物像について考える。 ・最後のごさまるの行動からごさまるの人物像について考える。 ・中城歴史資料図書館の学芸員さんの講話（1時間）

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・「自分もごさまるのように人々を助けられるような人になりたい」（児童の感想）
- ・「ごさまるの勉強ができるので、中城でよかった」（児童の感想）
- ・ごさまるについて学んだことを、紙芝居やクイズにして授業参観で伝えることができた。
- ・歴史的な史料が少ない中で、教師用の指導書がよくできていて、大変役にたった。
- ・子ども達は、グスクガイドの先生方の話を聞いたことで、意欲的に学習に取り組むことができた。（体験学習と人材活用を合わせることで効果的な指導ができた。）
- ・学校の見学のおかげで、中城城跡に興味・関心が高まってきた。学校の経験が活かされ諸々積極性が出て嬉しく見守っている。（保護者の感想）

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・CD-ROM「中城の英雄」絵のみのデータだったので、朗読（音声）も一緒に入っていたら助かります。（今回は、去年の朗読文のデータで授業を進めた）
- ・副読本を子ども一人ひとりに配布してほしいです。

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は2ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和2年2月14日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (中城南) 小学校 (3 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
			・副読本とワークシートを活用した。 ・総合学習「地域を知ろう」と関連させ、自分の課題をもち、調べたことをまとめ成果物とすることができた。

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- 授業参観日（「中城教育の日」）に、保護者向けに発表することができた。
また、発表後、保護者から感想をもらい達成感を味わうことができた。
- 「護佐丸歴史資料館」学芸員の出前授業を聞き、地域の良さを再確認することができた。
- ・

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・前年度までの学びの履歴を残し引き継ぎをする。
- ・地域の人材を活用した単元構成を工夫する。

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は2ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和2年2月14日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (中城南) 小学校 (4 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
4	1 2	1 2	・ 副読本とワークシートを活用した。 ・ 社会科と総合学習の観光学習と関連を持たせ、中城の観光プログラムを作り、成果物とすることができた。

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

・ 社会科と総合学習の観光学習と関連を持たせ、中城の観光プログラムを作り、成果物とすることができた。

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・
- ・ 講話をして下さる方など人材を活用できるようにしたい。
- ・ 板書計画があると、学年担任が替わっても指導内容の見通しが立つので必要だと感じる。

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は2ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和2年2月14日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (中城南) 小学校 (5 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
5	4	4	副読本を活用し，世界遺産である「中城城跡」を通して，その価値や意義，郷土の歴史や文化にふれ，それらを大切にする心を育てた。
	9	9	音読劇「中城と護佐丸」への取組。 ①通読 ②配役 ③練習 ④リハーサル ⑤本番 ⑥振り返り

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

- ・世界遺産への興味・関心を持つきっかけとなり，社会科へつなげることができた。
- ・音読劇を通して，その登場人物の心情を想像することができ，どのような気持ちで中城城をつくったのかを考える事ができた。
- ・音読劇を参観した保護者からは「子どもの違った一面を見ることが出来た。」「子どもの頑張りをみる事が出来て良かった。」などの声があった。
- ・

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・予算の都合があると思うが，テキストは学校保管では無く，児童配布として頂きたい。
- ・夏休みにごさまる科の全体研修を行って頂きたい。（実地研修，授業展開などの研修）
- ・

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら，「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は2ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和2年2月14日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）

令和元年度「中城ごさまる科」の取組状況報告書 (中城南) 小学校 (6 年)

令和元年度ごさまる科を実施しての成果と課題および児童評価について各設問にご回答下さい。

1 授業の実施状況及び取組内容

学年	計画時数	実施時数	取組内容（箇条書きで、具体的に）
6 学年	1 5	1 5	・副読本とワークシートを活用。 ・校外学習 2 時間・・・スクールバスを利用して護佐丸歴史資料館へ出かけ、学芸員による展示室の説明 1 時間と図書室での調べ学習 1 時間を設定。 ・個人新聞作成（B 4 サイズ）を作成。

2 成果（児童の興味・反応、成果物、保護者の反応など）

児童の感想

- ・琉球王国時代のことを知ることができ、中学でも地元の文化や歴史などをもっと調べてみたいと思った。
- ・護佐丸のことや中城城のことをより知ることができてよかった。
- ・自分が住んでいる中城のことがよくわかった。沖縄にもすばらしい文化があると思った。
- ・日本の歴史と比べながら沖縄の歴史を習うのは楽しくてもっと知りたくなった。
- ・身近にあるけどよく知らなかった沖縄の歴史について知る機会となった。今の沖縄があるのは、昔の琉球の人々の努力で成り立っているんだと思った。そんな人々の努力について知る機会がごさまる科だと思った。
- ・資料が身近にたくさんあるともっと調べたくなると思った。

3 課題（授業実践をおこなって、保護者の声など）

- ・副読本（教科書）は学級保管でなく個人用としていただきたい。
- ・調べ学習や新聞を作る際の内容に迫る資料がもっとあればよいと思います。
- ・転入生とその親御さんから、「これまでの積み重ねがなく、言葉も内容もとても難しいので資料があれば欲しい」という言葉がありました。

※ 授業に関する成果物（児童の作品や感想等）がありましたら、「ごさまる科研究会」の時にご持参ください。資料は今年度中に返却いたします。

※ 報告書は 2 ページ以上にまたがってもかまいません。

出期限日：令和 2 年 2 月 1 4 日(金)

中城村教育員会主幹：稲嶺まで（電子媒体：メール送信）